

(様式1)

親子の学び応援講座実践報告書

名 称	明和小中学校PTA連合
講座開催日	平成30年7月12日
会 場	明和小学校
参加人数	69名(小学校保護者32 中学校保護者17 教職員16 他4)
実践活動テーマ	家庭教育の基本はよい生活習慣と心を通わすコミュニケーション
テーマ設定の理由及び実践活動のねらい	子どもとの接し方について、良好な関係性を築くことができず、日々悩んでいる保護者が多い。この講座を通して、子どもの自立を促しながら、親自身も成長できるコミュニケーションの取り方を学ぶ。
講座及び実践活動内容	
<p>1 「子ども」「親自身」も大切に作る関係づくり</p> <p>(1)「聞く」「語る」「話し合う」コミュニケーションの三本の柱を知る。</p> <ul style="list-style-type: none">①子どもの話に耳を傾ける②親の本音を語る③対立があったら <p>(2) 子どものこころを閉ざす対応とは</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"><p><保護2名による役割演技></p><p>○学校で三分間スピーチをやりたくない子と、それに対応する親</p><p>①親の言いたいことを子どもにぶつける対応の場合(解決思考型)</p><p>命令・脅迫・説教・提案・講義・・・・・・・・</p></div> <p>(3) 子どもの心に届く話し方とは</p> <ul style="list-style-type: none">①自分を主語にして率直に語る②抵抗や反発には「能動的な聞き方」に切り替える。③親がひっこんでしまっても伝わらない <p>2 演習 様々なケースを想定して、グループや隣り同士で役割演技をしてみることで、親の気持ち子どもの気持ちを体感する。</p> <p>ケース1 子どもが返事や挨拶をしない</p> <p>ケース2 使ったコップや食器がおいたままになっている</p> <ul style="list-style-type: none">①「私メッセージ」と「能動的な聞き方」を駆使して解決法を見い出す②嬉しい、ほっとする、助かるなどの肯定感情で伝える。	



※講座及び活動内容の概要を記入してください。また、内容が分かる写真等を挿入してください。参考資料があれば添付してください。